

県立劇場

磨きぬかれた音に魅せられる、初冬の夜。

ベルリン放送交響楽団

十一月三十日(金) 於 コンサートホール(午後六時三十分)
すぐれた音楽的センス、技巧、音
る首席指揮者ハイレンツ・レークナ
楽への造詣の深さをもって、偉大な
一率いるベルリン放送交響楽団がす
ばらしい演奏を展開します。



くまもとの情熱を
思いっきり響かせて。

ベートーヴェン 第九

十二月二十七日(木)
於 コンサートホール(午後六時三十分)
劇場落成記念事業として行われた
ベートーヴェン第九の演奏をきっか
けに、県の音楽界をあげて結成され
た「県民第九の会」が、今年もまた
努力と熱情によって感動的な第九を
演奏します。

県立総合運動公園

十一月十七日(土)
九州医学会小児科大会(野球)

九州医学会眼科大会
(ソフトボール)

十一月十八日(日)
第八十四回九州医師会大会
(ラグビー、
マラソン)



十一月二十四日(土)
全九州大学女子リーグ
県大会(バレー)

県立総合体育館

十二月二十三日(祝)

第三十回
西日本弓道大会

中国、四国、九州の各県から、職
場・道場単位のチームで編成された
約千三百人の選手が技を競い合いま
す。

慈善大相撲
熊本場所

十二月八日(土)・九日(日)
吉田司家が相撲普及のため開催す
るもので、横綱以下総勢三百三十人
の一行が二日間にわたり、慈善大相
撲を行います。

県立総合体育館
スポーツ教室の
お知らせ

「たのしい水泳」
(対象者) 一般の男性・女性
(実施内容) 各種の泳法を体得し、
体力向上と共に健康増
進に役立てる。
(申込期間) 十二月十五日(土)～一
月七日(月)
(参加費) 三千五百円
(実施期間) 一月十日(木)～三月二
十八日(木)(十二日間)

県立美術館

繊細な光と陰で語りかける
名作の数々。

新印象派の巨匠たち

(ピサロ、シスレーからレイセルベルグまで)
十一月一日(木)～二十五日(日)
フランス近代絵画の展開に大きな影響を与えた新
印象派の代表作、約八十点の展覧。
(主な作家) ピサロ、シニャック、シスレー、スー
ラ、レイセルベルグほか。



ふるさと酒

玉虫・瓜山の節頭まわし(御船町)
青七日(玉虫地区) 玉月(瓜山地区)

昔、豊作を感謝して
酒を作ったり、
餅をついたり
して、村人た
ちがごちそう
を食べたのが祭
りの始まりとい
われています。



玉虫地区では、両親健在の男女が
大鉢に一升三合二勺(約二・四リッ
トル)の酒を注ぎ、これを区内の男
たちが年の順に口をつけ、回し飲み
をし、最後の一人が残った酒をいっ
きに飲みほし、空になった鉢を頭上
でかざします。

者全員で空になるまで回して飲み、
最後に米年の座元のところで「すす
ぎ酒」を入れていっきに飲み干し、
空になった鉢を頭上でかざします。

これが「節頭鉢かぶり」といわれ
るものです。

美女木神社祭り
十二月十五日(出)(熊本市南高江町)
神社には、川尻城落城の折、自ら
戦い、自刃して果てた美女木御前を
祭っています。御神木である大エノキ
は、御前と愛馬を葬った際に植えら
れたとい
います。



祭りは、
御神木に
大しめ縄
を七巻半
まわすこ
とから始
まります。

古式にのっとったお祓いの後、御神
木に下げた二匹の鯛を弓矢で三度射
て、当たれば豊作といわれています。

甘酒祭り(山王神社祭)
旧暦十一月最初の申の日(宇土市)
起源は七百年前にさ
かのぼるといわれて
います。

赤い着物に黄色い
腰とモで猿に扮
した若者たち
がホウライ、
ホウライの掛け声も
賑やかに甘酒をぶっ
かけあいます。

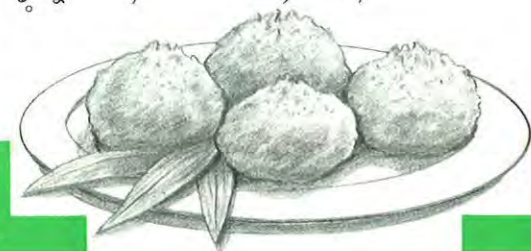
同社のけん族(二
族)はサルで、祭日が
申の日、また、サルが忌むため、供
え物はすべて精進料理というサルづ
くめの奇習です。

味
ねったんぼ

くまもとの
球磨地方の秋、からいも(さつま
いも)が出来始めると、この味が思
い出されます。忙しい仕事のあい間
に作り、よけまん(おやつ)として
食べるのです。練り合わせて作るこ
ろからこの名がついたようです。

材料(十人前)は、さつまいも三
個(五百グラム)、もち米三カップ、
塩少々。
黄粉七十グラム、砂糖三十グラム、
塩少々。

- (作り方)
①もち米は洗って水につけて、四
五時間おく。
②さつまいもは、皮をむいて輪切り
にし、水につけてアクを抜く。
③鍋に①②と水をはたきヒタに入れ、
中火で煮る。
④煮上がったたら、塩少々を加え、す
りこぎでよくつぶす。
⑤丸めて黄粉をまぶしたり、そのま
ま皿に入れ、黄粉をかけて食べる。



五家荘の人形まわし(七福神)
一月十五日(祝)(泉村小原)
「ごさいた、ごさいた」の囃子と
ともに、「七福神」と墨書した紙人形
をくるくる回しながら、子供たちは
一軒一軒家を回ります。
家々からは、子供たちへ餅やみか
んが配られます。

人形回しは、
その年の豊作を
予祝し、家の繁
盛と健康を祈念
する、いかにも
年頭にふさわし
い山村の祭りで
す。

戦後の熊本歩み

17日
○熊本市水前寺陸上競技場で、
「明治百年大運動会」が開催
された。(S43)

20日
○「菊池・阿蘇スカイライン」
開通。(S48)

23日
○幕内最年長の郷土力士福の花
が現役引退を表明。(S50)

26日
○東京-熊本(ほか十四都市)
間がダイヤル即時通話になる。(S36)

29日
○熊本市の太平洋パートで大火
災。死者三人、重傷者百余人。わが国の
デパート火災史上最大の惨事となる。(S48)

4日
○県立劇場開館
県民の芸術文化の追求と、心豊かなふれ
合いの場となることを願って、熊本市大
江の旧女子大跡地につくられる。
地上三階、地下二階、演劇ホールと音楽
専用のコンサートホールは、それぞれの
特性に合った機能を果たすよう設計され
る。(S57)

7日
○第一回金栗マラソン大会が開
かれる。(S22)

10日
○熊本-宮崎間を結ぶ九州横断
林道が完成。(S41)

15日
○豊肥線竜田口駅落成
に役立てる。(S20)

18日
○九州縦貫自動車道の御船-松
橋間開通
(53)

19日
○大朝種開通水式が行われる。(S57)

20日
○天草郡魚貴炭鉱ガス爆発事故
死者八人、重傷者十一人。(S24)

24日
○総工費一億三千万円で県立図
書館完成
冷暖房完備で、当時、西日本一の施設を
誇る。(S33)

25日
○原料不足から製造が中止され
ていた肥後赤酒が十二年ぶり
に復活
(25)

26日
○熊本市電熊本駅-田崎間開通
(34)

28日
○県営熊本発電所(球磨郡坂本
村)が始動。(S29)

31日
○ソ連に十一年間抑留されていた
た果出身者三十三人帰国(S31)
日ソ国交回復後の帰国船「興安丸」が
舞鶴港に入港。

1月
○熊本市の実験医学研究所の血
清部門が独立(財)化学及血
清療法研究所(化血研)発足
(S20)

2月
○冬の球磨川下り始まる。(S28)
コタン舟が登場。

3月
○「熊本こころの電話」がスタ
ート
こころの悩みは、こころの「こころ」を
キャッチフレーズに、熊本市水道町の
県精神衛生センター内に三台設置。
午後六時から同九時まで年中無休で相談
に応じている。
☎〇九六(三五〇)一〇

4月
○県下初の農業協同組合が下益
城郡豊野村に設立される。(S23)